

## 高松アピール(案)

県民のみなさん、私たちは 13~14 日四国四県の代表〇〇〇名が高松市に集い第 55 回原水爆禁止四国大会を開催し、誇りをもってアピールを發表します。

いま世界は、アメリカ大統領のオバマ氏がプラハで行なった「核兵器のない世界を追求する」という宣言をきっかけとして、核保有国をはじめNATO加盟諸国など核兵器のない世界の実現という流れが急速に強まっています。こうした情勢を学習した私たちは、被爆国国民として、この運動の先頭に立つことを決意しました。

来年5月ニューヨークで開かれる NPT(核不拡散条約)再検討会議を成功させ、核兵器のない世界実現に向かう一歩を踏み出すために、四国から多くの代表を送るではありませんか。そして、核兵器廃絶署名の共同提出など、被爆国日本がアメリカの「核の傘」から離脱し、核兵器廃絶の世界的努力の先頭に立つことを示そうではありませんか。

私たちは、大会で四国四県の運動を交流しました。徳島では、「核兵器のない世界を」の署名運動で、県内1000団体との共同を目標に精力的な運動を展開し、全国から注目されています。同時に草の根で3人集まればスーパー前での行動など縦横に運動を展開しています。愛媛では、原爆症認定訴訟を支えて実現し、全国のたたかいに呼応して奮闘を続けています。また、NPT再検討会議への要請団に20名の代表を送る準備を進めながら、危険なプルサーマル計画に反対する運動を継続しています。香川では、「原爆症認定集団訴訟を支援する取り組み」また、休眠していた被爆者の会の再建を援助し、訪問活動で感謝されています。高知では、四国山地で行われている危険な米軍の低空飛行訓練の調査活動。また、青年達のピースパイオニアーズの活動が新聞で紹介されるなど、被爆者との連帯、そして多くの青年たちとの交流を広げています。

四国大会に参加した私たちは、学習を基礎に、職場・地域・学園から署名と代表派遣の取り組みを直ちに強めます。とりわけ未来を担う青年たちの参加の取り組みを強めます。

四国は一つ。大きなうねりを四国の隅々まで届け、平和を愛する人々の力を借りて、広島・長崎での世界大会、NPT 会議を成功させ、政治の革新と「核兵器のない世界」の実現へと繋げようではありませんか。

本日、ここに結集した私たちがその先頭に立つことを決意し、県民皆様のご理解とご協力を呼びかけるものです。

2009年6月14日

第55回原水爆禁止四国大会 in 高松